



Corporate Social Responsibility Report

CSR REPORT 2021

CSRレポート2021

ニチアス 理念

ニチアスは、「断つ・保つ」®の技術で
地球の明るい未来に貢献します。

私たちの約束

ルールを守り、社会と共に歩みます。
感謝の心を忘れず、お客さまの満足を追求します。
互いに信頼し、共に成長します。

C O N T E N T S

01	イントロダクション
03	トップメッセージ
05	ニチアスの125年
15	コーポレートガバナンス
07	社会の中のニチアスグループ
17	お客さまとのつながり
09	事業紹介／ SDGsの達成に役立つ ニチアス製品とサービス
19	従業員とのつながり
11	特集 ニチアスの バリューチェーンマップ
21	社会とのつながり
13	CSR活動の目標と実績
23	株主・お取引先とのつながり
24	環境への取り組み
30	会社情報

2021年 3月期
基 本 デ ータ

連結売上高	1,964億円
連結営業利益	196億円
従業員数	連結 6,337名 単独 1,766名

編集方針

ニチアスグループは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みと社会的責任に関する情報をわかりやすく開示し、ステークホルダーの皆さまのご理解を深めることを目的に、CSR (Corporate Social Responsibility) レポートを発行しています。

報告範囲

ニチアス株式会社を中心に下記項目を除きニチアスグループ全体について報告しています。
・「従業員とのつながり」(P19、20)の「有給休暇の取得推進」「障がい者雇用の推進」「健康管理に関する状況」で記載されているデータについてはニチアス株式会社単体を対象としています。
・「環境への取り組み」(P24～29)は、プラント向け工事・販売事業および建材事業の工事部門に関するデータを除いております。

・「環境パフォーマンス」(P27、28)は当社製造工場^{注1}、国内連結製造子会社^{注2}を対象としています。

注1. 鶴見工場、王寺工場、郡山分工場、羽島工場、袋井工場、結城工場
注2. ニチアスセラテック株式会社、株式会社堺ニチアス、国分工業株式会社、竜田工業株式会社、大田化成株式会社、株式会社福島ニチアス、メタコート工業株式会社、株式会社津田ロックウール、株式会社熊本ニチアス、株式会社西日本ニチアス、株式会社ニチアスメカテクノ

報告期間

2020年4月1日～2021年3月31日

報告発行時期

2021年6月(年1回) (前回発行 2020年6月)

編集・発行

ニチアス株式会社 CSRチーム

将来の見通しに関する注意事項

本レポートにはニチアスグループの実績および将来に関する予測・計画などが記載されています。これらは現段階で入手可能な情報に基づいた仮定ないし判断であり、実際の業績や活動結果などについては異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまにはあらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。



125年の長い歴史の中で培ってきた
「断つ・保つ」®の技術を活かして、
社会的な責任を果たし、
地球の明るい未来に貢献します。

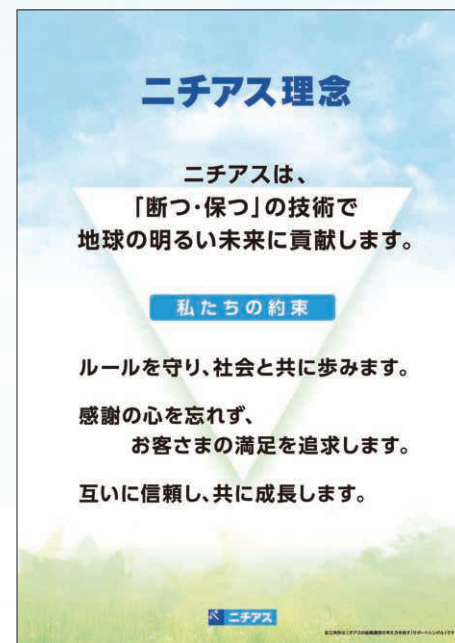
代表取締役社長 武井 俊之

「断つ・保つ」®技術と共に歩み続けるニチアスグループ

当社グループの企業理念であるニチアス理念は、「ニチアスは『断つ・保つ』の技術で地球の明るい未来に貢献します」と掲げています。当社は1896年(明治29年)に我が国における保温・保冷分野のパイオニアとして創業し、当社独自の技術である「断つ・保つ」の技術を125年の歴史のなかで深化させ今日にいたりました。

「断つ・保つ」の技術は、漏れを「断つ」、熱を「断つ・保つ」、音・振動を「断つ」、火を「断つ」、腐食を「断つ」、クリーンな「保つ」という6つの技術から成り立っており、私たちの生活や社会になくてはならない技術です。

ニチアス理念では、これらの技術を活かした製品・サービスを提供することを通じてさまざまな分野で貢献し、社会から必要とされる企業であること、ひいては明るい未来に向けて成長し続け、持続的に貢献することを誓っています。



ニチアス理念

外部環境や社会課題におけるニチアスグループの役割

2020年初頭から新型コロナウイルス感染症の猛威が世界を震撼させ、現在もお収束の兆しが見えません。

ウイルス感染症でお亡くなりになられた方々のご冥福を申し上げるとともに、今日もお治療を受けている方に心よりお見舞い申し上げます。また現在も医療現場を支える方々に心より敬意を表します。

このような状況のもと、当社グループの製品・サービスは国内外の産業やインフラ設備などの社会基盤を根底から支えており、製品・サービスを確実に供給することが当社グループの社会的責任であると考えています。

従業員含め徹底したコロナ対策のもとその役割を全うしてまいります。

また、昨今世界各国でハリケーンや豪雨などの自然災害があとを絶ちません。

このような災害の要因の一つである地球温暖化への対策は待ったなしの急務であると捉えています。当社グループ内での対策はもちろんのこと、「断つ・保つ」の技術は、さまざまな分野で地球温暖化防止に貢献する役割を担っています。

持続可能な社会の実現を目指した脱炭素に向けた取り組み

当社グループでは、地球温暖化の原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの発生および排出を削減することは重要な企業の社会的責任であり、この取り組みを積極的に進めることで、サステナビリティ経営に寄与し、企業の持続的成長を実現するものと考えています。

これらを踏まえ本年4月に「ニチアスグループカーボンニュートラル宣言」を発表し、全事業場が排出する二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロとすることを宣言いたしました。

ました。

今後は、脱炭素につながるものづくりへの転換、グループ全事業場での省エネルギーのさらなる推進、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの積極的活動を重点施策として、脱炭素の実現に邁進します。

また、当社グループは地球温暖化防止だけでなく、さまざまな環境問題に対応し持続可能な社会の実現を目指してまいります。

持続的な成長はステークホルダーの人権と従業員の健康の確保から

当社グループが持続的に成長し続けるためには、関係するステークホルダーの人権が守られないといけません。これを実現するため、昨年2月当社グループにかかわる全てのステークホルダーの人権への基本的な考え方を明示した「ニチアスグループ人権方針」を制定しました。

また、従業員の健康と安全は企業活動の基盤となりますので、従業員が健康で生き生きと働けるよう、本年4月に「ニチアスグループ健康経営宣言」を発表しました。

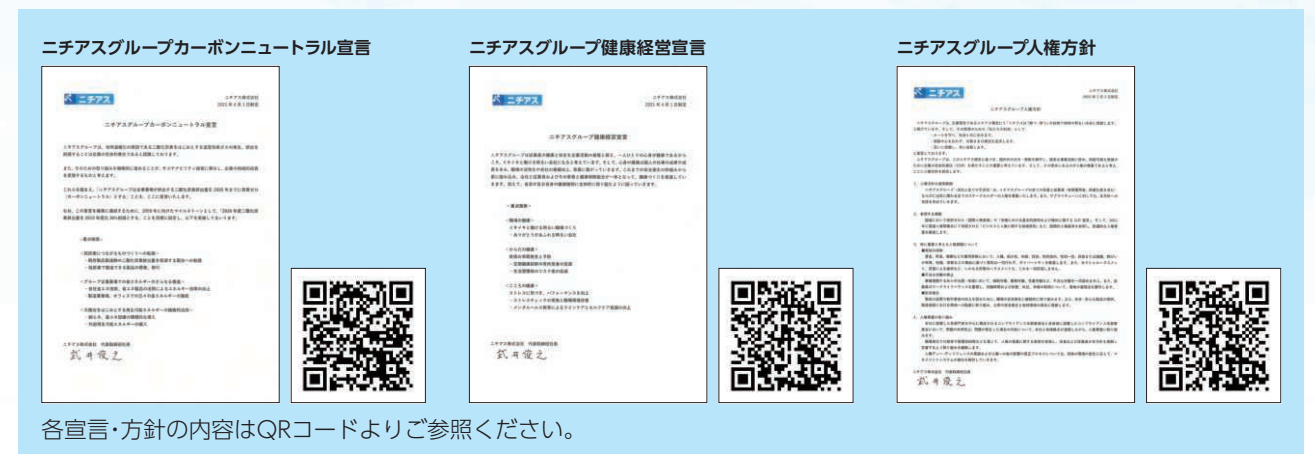
これらを推進することにより、当社グループは持続的に成長し続けます。

さらに、当社グループでは2015年から、グループ全体の改善活動であるNKK(ニチアス改善活動)に取り組んでいます。

この活動で得られた成果を働き方改革や業務改善につなげ、かねてから掲げている「働きやすい明るい会社」「ありがとう」があふれる会社」を達成し、ニチアス理念の実現に向けて歩んでまいります。

2020年度のCSR活動の成果をステークホルダーのみなさまにご報告いたします。

本レポートをご一読いただき、当社グループの理解の一助となれば幸いです。



各宣言・方針の内容はQRコードよりご参照ください。

産業の発展や人々の暮らしを支えて125年。
ニチアスはこれからも「断つ・保つ」の技術で、
社会に価値を提供し続けます。

国産のシール材、断熱材メーカーの パイオニアとして創立

当時の日本は工業社会の始動期にありました。このよ
うな時代背景の中、ニチアスは国産のシール材や断熱
材を製造・販売するメーカーとして創立しました。



創立当時のようす

「断つ・保つ」®の 6つの技術が 確立

ニチアスの「断つ・保つ」の技術は、6つ
の要素技術に分類されます。

シール材、断熱材だけでなく、防音、耐
火、耐食、クリーンに関わる製品を生
み出し幅広い産業に価値を提供して
います。



1931
昭和6年

ジョイントシートガasket
の国産第1号完成



1938
昭和13年

国産初のロックウール
生産開始



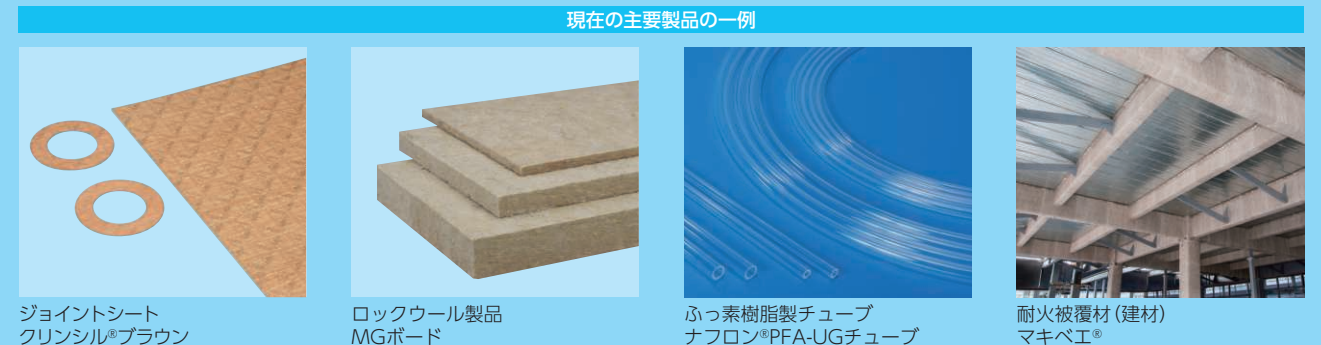
1951
昭和26年

ふっ素樹脂製品の製品化



1958
昭和33年

不燃建材の生産開始



現在の主要製品の一部

ジョイントシート
クリンシル®プラウ

ロックウール製品
MGボード

ふっ素樹脂チューブ
ナフロン®PFA-UGチューブ

耐火被覆材(建材)
マキベエ®

1800 1900 「断つ・保つ」の技術の確立と事業の拡大 2000 「断つ・保つ」の技術で社会に価値を提供し続ける企業へ

1896
明治29年

1923
大正12年

1931
昭和6年

1958
昭和33年

1979
昭和54年

2001
平成13年

2011
平成23年

2020
令和2年

2021
令和3年

トンボ印初の商標登録

当社のコーポレートマークであるトンボは、軽やかに飛
ぶ姿にニチアスの飛翔への希望を込めています。



大正13年頃のトンボ印(左)と、現在のコーポレートマーク(右)

ニチアスグループ 初の海外進出

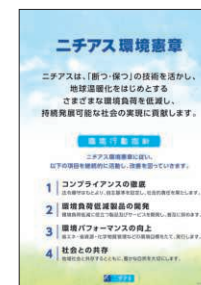
シンガポールに初の海外拠点を設立して以来、2021
年現在では10か国に展開しています。



当時の開所式のようす

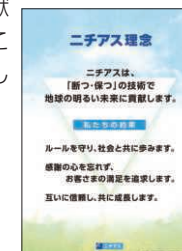
「ニチアス環境憲章」 制定

「断つ・保つ」の技術で持続発展
可能な社会の実現に貢献すると
いう強い意志を表明しています。



新企業理念 「ニチアス理念」制定

当社グループが「断つ・保つ」を
キーワードとする社会になく
てはならない製品・サービスを
提供することで、地球の明るい
未来に貢献
していくこ
とを表明し
ました。



「ニチアス理念」の 実現に向けて

「断つ・保つ」の技術で社会に価値を提供し
続け、「ニチアス理念」の実現に向けた「人
権」「地球環境」「従業員の健康」に対する具
体的な取り組みの方針を示しました。

- ニチアスグループ人権方針
(2020年)
- ニチアスグループ
カーボンニュートラル宣言
(2021年)
- ニチアスグループ健康経営
宣言(2021年)



社会課題を解決する ニチアスの技術と製品・サービス

ニチアスグループは、石油化学や電力といった社会基盤を支えるインフラ、人々の移動や物流を支える自動車、暮らしや生活を支えるビルや住宅、最先端IT技術を支える半導体製造装置にいたる幅広い分野に製品・サービスを提供しています。



Pick Up

5G通信の電子基板で活躍 ナフロン® PTFEテープ



今後次世代通信規格「5G」が普及することにより高速・大容量の通信と多接続が遅延なく可能になり、さまざまな技術革新が起こることが期待されています。しかし、こうした5G通信を実現するための電子基板は、従来の電子基板より誘電損失を少なくすることが求められます。

PTFEをはじめとするふっ素樹脂製品は、高い耐熱性、優れた耐薬品性、電気特性、低い摩擦係数など多くの特性を持っています。このPTFEを薄く加工したものが「ナフロン® PTFEテープ」です。PTFEが持つ優れた誘電特性を活かし、今話題の5G通信用電子基板や各種電子部品の製造工程で活躍しています。

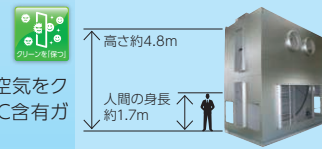


1 半導体製造工場

低濃度有機溶剤濃縮装置

ソルベントクリーン®

半導体製造工程から排出される空気をクリーンにするために、低濃度VOC含有ガスを濃縮する装置です。



高性能ゴム製シール材

ブレイザー® ネクスト

クリーンな環境が求められる半導体製造工程の機器などに使用されるゴム製シール材です。



4 原子力発電所

2 ロケットで

ふっ素樹脂製ホース

ナフロン® PFA耐圧ホース

ロケット発射台の機器、設備制御用ラインに使用されるふっ素樹脂製のホースです。



3 病院で

医療用チューブ

ナフロン® マルチルーメンチューブ

内視鏡などクリーンが求められる医療機器の部品として使用される直径わずか1mm程度のふっ素樹脂製のチューブです。



4 原子力発電所で

原子力発電設備用保温材

金属保温材

原子炉の圧力容器や配管などに使用されるほりが一切出ないすべて金属製の保温材です。



5 食品製造プラントで

食品向けシール材

サニクリーン® ガasket

食品製造工程の製品充填ラインなどで使用されるに、汚れが付かないシール材です。



6 冷蔵倉庫で

防熱工事

-20℃の大型冷蔵倉庫などへの保温・保冷材の施工工事です。



7 製鉄プラントで

高温用断熱材

ファインフレックスBIO® ブランケット

ボイラーの天井や炉壁などに使用される断熱材です。省エネルギーに貢献します。



8 自動車

自動車部品用シール材

メタコート®

エンジンのシリンダーヘッドなどに使用されるシール材です。



超軽量防音カバー

エアートン®

自動車のエンジンやトランスミッションなどに使用される防音カバーです。



9 火力発電所で

配管用シール材

グラシール® ボルトテックス® ガasket

ボイラーなどの機器や配管で使用するシール部がうず巻き形状のシール材です。



10 石油化学プラントで

保温機能回復工法

増し保温® 工法

劣化した保温材を取り外すことなく、新しい保温材を重ね巻きして保温性能を回復させる工法です。



11 LNG船で

保冷工事

-162℃の低温流体が流れるLNG船の配管やタンクへの保温材の取り付け工事です。



12 LNG設備で

極低温用保温材

フォームナート® TN

-162℃の低温流体が流れる配管に使用されるウレタンフォーム保温材です。



13 ビルで

建築用防音・断熱材

MGビルパック®

ビルの天井、間仕切壁に使用される防音・断熱材です。オフィスの省エネ・防音に貢献します。



14 物流倉庫で

巻付け耐火被覆材

マキベエ®

鉄骨構造ビルの梁や柱に使用される耐火被覆材です。施工の省人化にも貢献します。



15 住宅で

住宅用断熱材

ホームマット®

住宅の天井・壁・屋根に使用される断熱材です。防音機能にも優れています。



16 さまざまなプラントで

GASKET 工房®

お客様の工場内に設置し、その場でガスケットの加工が可能なトラックです。スピーディーな対応が特長です。



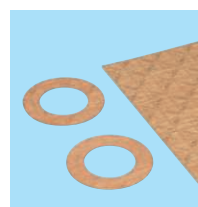
当社グループでは、各種プラント設備向けにエンジニアリングや製品を提供する「プラント向け工事・販売事業」、基幹産業を主な市場とする「工業製品事業」、半導体産業に特化した「高機能製品事業」、自動車メーカーなどを主な客先とする「自動車部品事業」、ビルや住宅の建材を供給・施工する「建材事業」の5つの事業領域で、さまざまな産業の発展に大きく貢献しています。

プラント向け工事・販売事業

極低温から超高温にいたる領域で、独自技術を駆使したエンジニアリングサービスとシール材をはじめとする製品を提供。電力、LNG、石油精製・石油化学などのプラント施設に常駐体制を構築することで、各種工事やメンテナンス工事におけるお客さまのニーズにお応えしています。



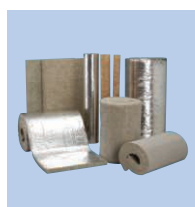
保冷工事



シール材

工業製品事業

装置機器、環境、食品、医療、鉄鋼などの主要産業分野を中心に、ガスケット・パッキン、ふっ素樹脂製品、各種断熱材、フィルター製品などの幅広い製品を提供しています。また、全社のマザー事業本部として、新規事業創出の役割も担っています。



ロックウール断熱材



低濃度有機溶剤濃縮機

高機能製品事業

技術革新の早いエレクトロニクス関連産業分野の中で、半導体・FPD製造装置に不可欠な、熱・薬液・ガスなどのプロセスにかかわる先進の部品や部材を提供しています。



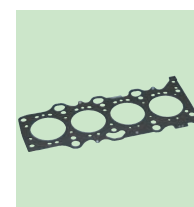
ふっ素樹脂製チューブ



配管加熱・保温ヒーター

自動車部品事業

シリンダーヘッドガスケットなどの流体の漏れを「断つ」機能部品であるシール材をはじめ、自動車の進化に対応する防熱、防音、制振関連の製品を提供しています。



シリンダーヘッドガスケット



超軽量防音カバー

建材事業

不燃・断熱・耐火などの性能を備えた建材を提供するとともに、その建材を活用した施工事業も展開。オフィスビル、住宅、工場、研究施設などでの、より安全で快適な空間づくりに貢献しています。



巻付け耐火被覆材

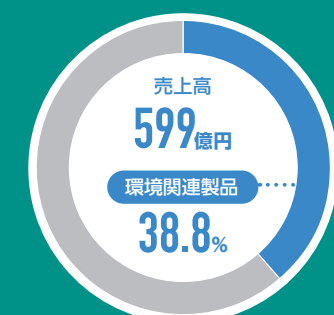


住宅用断熱材

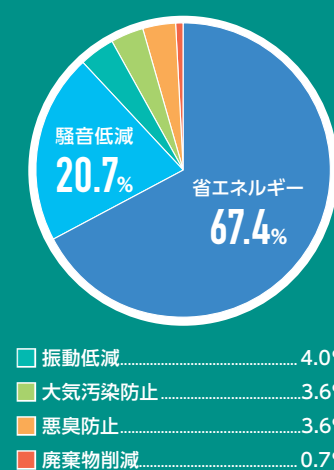
ニチアス環境関連製品

当社グループでは社会やお客さまの省エネルギーや騒音防止など環境負荷低減に役立つ製品やサービスを「ニチアス環境関連製品」として定義しました。今後も社会やお客さまの環境負荷低減に役立つ製品やサービスを提供していきます。

2020年度ニチアス環境関連製品の売上高(単体)と比率



2020年度ニチアス環境関連製品の項目別比率



SDGsの達成に役立つニチアス製品とサービス

当社グループの企業活動はSDGs(持続可能な開発目標)と密接に関連しています。

当社グループの「断つ・保つ」技術の製品やサービスをご使用、ご利用いただくことが、SDGs達成の手助けとなります。以下では、その事例をいくつか紹介し、次項ではニチアスのバリューチェーン全体におけるSDGsとの関わりを紹介します。

マキベ®



従来の吹付け工法よりも作業性よく施工できる耐火被覆材で、火災時に建築物を火から守ります。



ガスケット Lab®



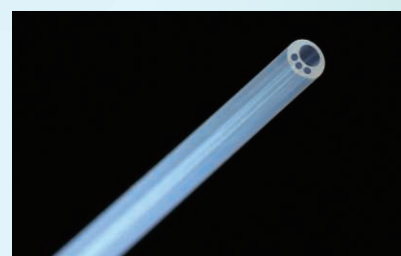
ガスケットの劣化状態を評価し、最適なガスケットの交換時期を推奨し、ムダな廃棄物を減らします。



ナフロン® マルチルーメンチューブ



内視鏡などクリーンが求められる医療機器の部品として使用され、最新の医療に貢献します。



ロスリム® ボード



電子部品の焼成炉にも使われる極めて高い断熱性能をもつ断熱材です。省エネルギーやそれによるCO₂排出削減に役立ちます。



平成27年度省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞受賞

エネサーモ®



バルブやフランジなどに着脱自在で繰り返し使用できる断熱材で、省エネルギーや廃棄物削減に役立ちます。



インサルカバー®



自動車の排気系部品からの音と熱を遮断する金属製カバーで、騒音の低減や省エネルギーに役立ちます。



ニチアスのバリューチェーンマップ

ニチアスグループの製品・サービスが生まれる研究開発から原材料調達、製造、販売・物流、そしてお客さまに使用いただくまでの流れ【バリューチェーン】における、当社グループCSR活動との関連性を紹介します。あわせてSDGsとの関連についても紹介いたします。



支援・管理

当社のバリューチェーンを縁の下で支援・管理します。

主な活動

- **コーポレートガバナンス(P15、16)**
- 内部統制評価
- **コンプライアンス**
- **株主・お取引先とのつながり(P23)**
- 株主・投資家への情報開示
- **従業員とのつながり(P19、20)**
- ダイバーシティへの取り組み
- ワークライフバランスの推進
- 従業員の安全と健康経営の推進
- 人材の開発と育成
- **従業員、家族とのコミュニケーション**
- **社会とのつながり(P21、22)**
- 社会・地域貢献活動

活動の一例



コンプライアンス教育で使用している啓発マンガ



こども参観日のようす

従業員がコンプライアンスについてよりよく理解できるように啓発マンガを使用して教育を行っています。

家庭内でのコミュニケーション向上とこどもたちへ職業観の育成、ご家族の仕事への理解を深めてもらうため「こども参観日」を開催しています。

関連する主なSDGs



※SDGsとの関係については、環境省発行の「すべての企業が持続的に発展するために―持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド―」【第2版】(令和2年3月発行)を参照しています。

CSR活動の目標と実績

ニチアスグループは、お客さま、お取引先、株主・投資家、従業員とのつながりをもとより、社会全般および拠点のある地域社会とのつながりを大切にし、より良い関係の構築を通して社会的課題の解決に貢献します。

6つの軸		活動項目	目標／あるべき姿	2020年度計画	2020年度報告	目標／あるべき姿に対する達成度の自己評価	2021年度計画	
1	コーポレートガバナンス	内部統制評価	当社グループの内部統制が有効に機能し、リスクが低減され、健全な経営活動が推進されている	● 業務監査の実施 (本体：15拠点、子会社：国内13拠点、海外11拠点)	● 業務監査の実施(本体：12拠点、子会社：国内7拠点、海外1拠点) いずれも内部統制が有効であることを確認 ※新型コロナウイルスの影響により監査実施件数については未達	○	● 業務監査の実施(本体：8拠点、子会社：国内11拠点、海外10拠点)	
		コンプライアンス	当社「コンプライアンス綱領」に則り、法令・定款の順守はもとより、社会の良識、常識を踏まえたコンプライアンス活動に取り組んでいる	● 「コンプライアンスポータルサイト」の充実化継続 ● コンプライアンス内部講師による各職場でのハラスメント防止研修の実施 ● 海外子会社のコンプライアンス活動支援	コンプライアンスの徹底 ● 啓発資料の充実化 ● 啓発テーマを毎月更新で提示 ● 内部講師による各職場でのハラスメント防止研修を実施(4回/年) ● ニチアスグループコンプライアンス綱領英語版を配布	○	● 「コンプライアンスポータルサイト」の充実化継続 ● パワハラ撲滅活動の実施(啓発活動として、社内標語公募、eラーニング(2回/年実施)を行う) ● コンプライアンス内部講師による各職場でのハラスメント防止研修の実施 ● 海外子会社のコンプライアンス活動支援	
		知的財産の保護	競争優位性の確保と公正な競争秩序を維持するために、知的財産の保護・尊重をグループ一丸となって推進している	● 知的財産保護知識の従業員への浸透 ・不正競争防止法 ・ブランド関係 ・著作権	● 不正競争防止法順守のルール化および教育を実施	○	● 知的財産保護知識の従業員教育の継続 ・不正競争防止法 ・知的財産保護について	
2	お客さまとのつながり	環境関連製品の提供	社会やお客さまのところで直接環境負荷低減に役立つ製品・サービスを提供する	● 環境関連製品については集計維持継続	● ニチアス環境関連製品売上金額(単体) 2020年度：599億円／2019年度：635億円／2018年度：624億円	—	● 環境関連製品について集計維持継続	
		製品の安定供給	災害など不測の事態が発生しても、供給責任を果たせる体制が構築できている	● 事業活動を行っていくためのBCP活動継続 ● 火災、爆発、自然災害を想定した製造拠点のリスク診断の継続実施(2拠点/年)	● NT RUBBER-SEALS SDN. BHD. 第5工場の竣工 ● 王寺工場 新棟第2棟の着工 ● ニチアスセラテック中野第2工場の竣工 ● 2019年までに主要な製造拠点に対してリスク診断を実施済	○	● 事業活動を行っていくためのBCP活動継続 王寺工場 新棟第2棟の完成 大阪支社完成 ● 製造拠点の状況により必要に応じて実施	
		品質保証体制	安全で信頼性の高い製品・サービスを提供している	● 売上高1億円当たりのクレーム発生：0.21件以下	● 売上高1億円当たりのクレーム発生：0.20件	○	● 売上高1億円当たりのクレーム発生：0.21件以下	
3	株主・お取引先とのつながり	株主・投資家への情報開示	株主・投資家の皆さまに公平、適切な情報開示ができています	● 適切な情報開示 ● 個別ミーティング：140件以上 ● 個人投資家向け会社説明会開催 ● 工場見学実施 ● 海外IRの実施	● 個別ミーティング：112件	○	● 適切な情報開示 ● 個別ミーティング：120件以上	
		公正な競争・取引	公正かつ自由な競争・取引が行われる環境下で事業活動を継続している 独禁法や下請法の趣旨や内容を理解し、順守している	● 独禁法、下請法に関する各種研修会の実施 ● 子会社の下請業者との取引実態の把握と改善	● 独禁法、下請法に関する研修会の実施：4回(本社、支社、工場および研究所向け階層別研修にて実施) ● eラーニング実施 ● 子会社における下請業者との取引の法令順守活動を実施	○	● 独禁法、下請法に関する各種研修会の実施 ● 独禁法、下請法順守のためのマニュアル改訂 ● 子会社の下請業者との取引実態の把握と改善	
		取引に関する方針	継続した事業活動を行うために、原材料のBCP対策ができています	● CSR調達アンケートを通して取引先へのBCP対策の調査を実施 ● アンケート依頼先の範囲拡大(30社→50社)	● CSR調達アンケートを実施し取引先のBCP対策を調査(50社) ● 50社すべてに分析結果をフィードバック	○	● CSR調達アンケートを通して取引先へのBCP対策の調査を実施(50社を継続)	
4	従業員とのつながり	ダイバーシティ	多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組んでいる	● 女性総合職の積極採用：採用率：20%以上 ● 障がい者雇用率の維持：障がい者雇用率：2.2%以上	● 女性総合職の採用率：31% ● 障がい者雇用率：2.3%	○	● 女性総合職の積極採用：採用率：20%以上 ● 障がい者雇用率の維持：障がい者雇用率：2.3%以上	
		ワークライフバランスの推進	仕事と家庭など仕事以外の生活との調和を保つ環境で働いている	● 有給休暇の取得推進 ・計画取得の推進：12月末までに5日以上取得 ・有給休暇取得率：70%以上 ● 育児・介護休業を取得しやすい環境の整備 ● 在宅勤務制度運用後の問題点の把握と対策の実施	● 有給休暇取得率：63.9% ● こどもの看護・介護休暇の時間単位の取得の規程化 ● 在宅勤務の対象者を全事務職に拡大	○	● 有給休暇の取得推進 ・計画取得の推進：12月末までに5日以上取得 ・有給休暇取得率：60%以上の取得(2025年までに70%取得を目指す) ● 育児・介護休業を取得しやすい環境の整備 ● 在宅勤務制度運用後の問題点の把握と対策の実施	
		従業員の安全と健康経営の推進	従業員の健康を維持し、働きやすい明るい職場づくりを推進している 従業員の安全を守るために、災害ゼロを推進している	● 従業員の健康増進：健康診断二次検査受診率：100% ● 重大災害(休業10日以上)の災害：0件 ● KY・指差し呼称徹底活動の推進 ・一人KYの推進 ・安全キーマン育成教育の継続実施 ● 安全作業指針・安全設計標準・教育動画の整備 ● 未熟練者の危険感受性向上のため、指導方法・内容の改善 海外駐在員・海外出張者の安全 ● 新規安全サポートサービスの運用開始 国内従業員の安全 ● 安否確認システムの定期訓練：回答率100% ● 地域単位での運用定着化(拠点単位で発信、情報収集)	● 健康診断二次健診受診率：100% ● 9件発生 ● 8事業場にKYT指導 ● 「異常時は止めて呼んで待つ！」の啓発 ● 安全作業指針3種類制定 ● 機械の包括的な安全基準に関する指針の教育実施 ● 2020年8月に新規安全サポートサービス運用開始 従前のサービスに加え、緊急避難サポートを追加 ● 安否確認システムの定期訓練：回答率99.8% ● 地域単位で自主的に安否確認訓練実施中	○	● 従業員の健康増進：健康診断二次検査受診率：100% ● 重大災害(休業10日以上)の災害：0件 ● KY・指差し呼称・「異常時は止めて呼んで待つ！」の活動推進 ● 「設備による安全」を目指し、リスクアセスメントにもとづくリスクレベルの低減推進 ● 安全作業指針・安全設計標準・教育動画の整備 ● 未熟練者・資格者フォローなど効果的な教育の推進 海外駐在員・海外出張者の安全 ● 安全サポートサービスの継続実施 国内従業員の安全 ● 安否確認システムの定期訓練：回答率100% ● 地域単位での運用の継続(拠点単位で発信、情報収集)	
		従業員、家族とのコミュニケーション	従業員と家族にとって当社がより身近な存在になれるような活動を実施している	● こども参観日：本社、地域事業所での開催継続 ● 社内報「とんぼのわ」の発行継続 ● CSR eラーニングの実施継続	● 新型コロナウイルス感染症対策のため、こども参観日は中止 代わりにやさいはなぼつとを活用した苗を希望者に配布し、植物飼育体験を実施 ● 社内報「とんぼのわ」：発行継続 ● CSR eラーニングの実施：当社従業員を対象に4,495名受講	○	● コロナ禍につきこども参観日に代わる家族参加型企画の継続 ● 社内報「とんぼのわ」の発行継続 ● CSR eラーニングの実施継続	
		5	社会とのつながり	社会・地域貢献活動	● 各拠点によるCSR活動の充実 ● 学術研究助成の継続 ● 寄付を通じた地域への貢献	● 71拠点、延べ4,345人によるCSR活動 ● 37件、約500万円の寄付を実施	○	● 各拠点によるCSR活動の充実・維持継続 ● 学術研究助成の継続 ● 寄付を通じた地域への貢献
					● フードバンクへの備蓄食料の提供	● 約38万円分の食料品寄付を実施		● 各拠点で発生する災害用備蓄品について食品ロスを最小限に抑える
6	環境への取り組み	環境への取り組みの活動項目・目標・実績はP25に掲載しています						

○ 目標達成 △ 目標に対し50%以上達成 × 目標に対し50%未満達成 — 評価対象外

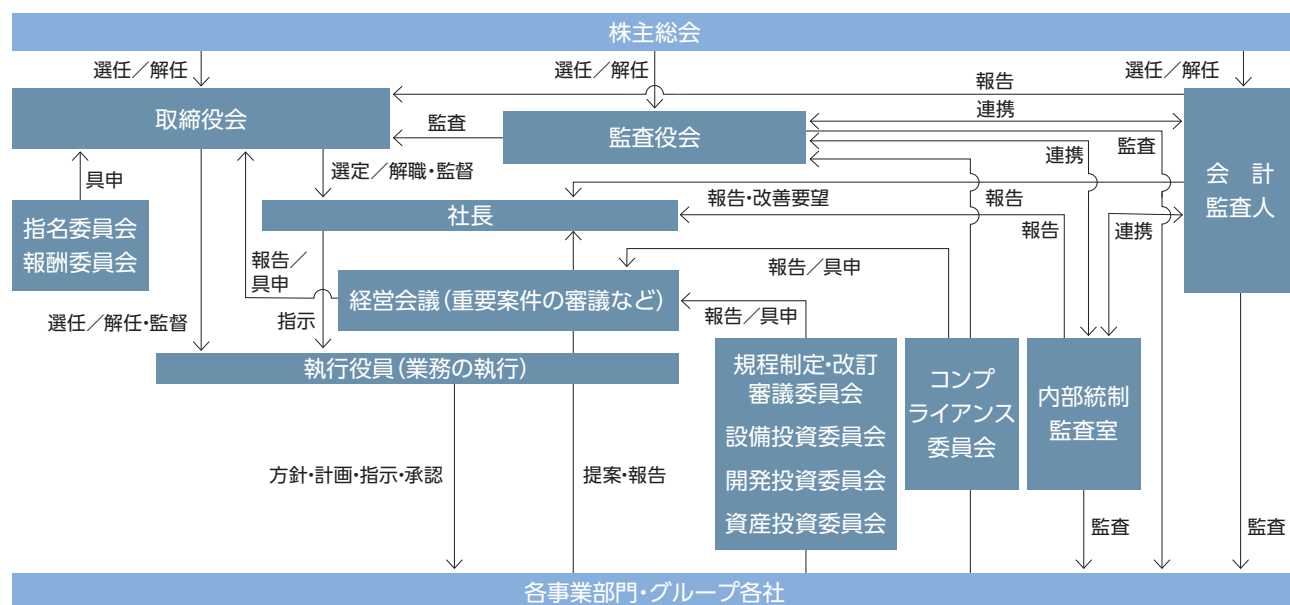
ニチアスグループは、経営の透明性、公正性、効率性を高め、企業価値を長期にわたり安定的に向上させることが経営の最重要課題と考えています。

コーポレートガバナンスの強化

当社の取締役会は、当事業に精通した8名の取締役と、独立した立場から自由に提言できる3名の社外取締役で構成されており、毎月定例日に1回、必要な場合は臨時に開催し、経営上の重要な意思決定を行っています。このほか、稟議案件の承認、全社的な業務運営や個別の重要案件を審議する経営会議を原則毎週開催しています。

また、当社の監査役会は経営監視機能の客観性と中立性を確保するため、専門分野をもつ社外監査役と当社の業務経験がある常勤監査役によって構成され、経営に対して積極的な意見表明を行っています。

コーポレートガバナンス体制図



内部統制評価

当社グループ全体の企業価値の向上を図るため、内部統制に係る体制を整備し、その評価の仕組みを構築しています。公正性・独立性を明確にするため、社長直轄の内部統制監査室を設置し、当社グループの内部監査を計画的に実施しています。

2020年度は、コロナ禍により一部リモート監査に切り替え、ニチアス本体12拠点、グループ会社8拠点（国内7、海外1）を対象に内部監査を行いました。いずれの拠点も、管理状況は良好であることを確認しました。また、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効と判断する「内部統制報告書」を作成、提出しています。

知的財産の保護

当社グループでは、知的財産（知財）を重要なものとして位置付け、新たに創出した技術については、権利取得を積極的に推進しています。また、新製品発売時には他者の知財権を尊重し、権利侵害がないよう適宜調査・確認を実施し、適切に対応しています。また、自社ブランドの権利化を各国で進めるとともに、模倣品調査を適宜行い、対処することで自社ブランド価値の維持・向上および利用者の安全確保に努めています。

コンプライアンス

当社グループのコンプライアンス活動の基盤は、毎月の本部委員会と3カ月に一度の支部委員会にあります。第三者機関による「総合通報窓口」を開設し、より透明性の高い体制を実現しています。お客さまや社会からの期待に応え、責任を果たしていくために、コンプライアンスを最優先する組織・風土づくりを進めています。

■ 現場に根差したコンプライアンス推進体制

グループ横断的な視点からコンプライアンスを推進するために、その専門組織として、管理本部のもとにコンプライアンス室を設置いたしました。

コンプライアンス室では、コンプライアンス活動方針に沿った具体的な諸施策の立案・実施や各職場での実践状況の把握、課題に対する提言・助言のほか、コンプライアンス・カウンター（内部通報窓口）に寄せられた意見、事案について、公平・公正、誠実に対応しています。

また、国内外の各事業所、グループ各社ではそれぞれにコンプライアンスを推進する支部委員会が組織され、各職場の課題に対応した独自の行動指針を策定・周知するなど、主体的な推進活動を行っています。

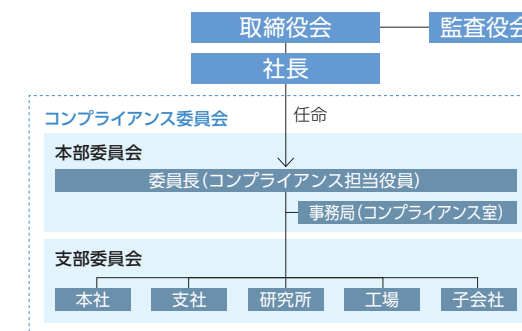
■ 継続的な情報発信でコンプライアンス意識の啓発活動

当社グループではコンプライアンスの理解促進、実践のために定期的にコンプライアンス啓発情報発信を行っています。

社内イントラネット内の「コンプライアンス・ポータルサイト」では、その時々に取り組んでいる活動と連動したテーマ、世の中の事例を通してコンプライアンスの本質を理解するコンテンツなどを発信しており、各事業場、グループ各社のコンプライアンス支部委員会が中心となって、全従業員へ周知しています。

また、2020年は「パワハラ防止」をテーマとし、ハラスメントを起こさない健全なコミュニケーションを風土として醸成していくためのヒントを掴んでもらうきっかけ作りを目的に4コマ漫画によるケーススタディを使い、各事業場、各グループ会社の社内内部講師による研修を実施しました。

コンプライアンス体制図



4コマ漫画によるコンプライアンス啓発

社外取締役メッセージ

取締役の職務執行の適法性を監視しながら
コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

社外取締役 江藤 洋一



歴史ある当社の「断つ・保つ」の技術は、幅広い産業で貢献できる大変素晴らしいものであり、今後も産業界のみならず社会全体から必要とされ続けることが当社の役割です。その役割を果たすためにも、会社の基盤であるコーポレートガバナンスが非常に重要です。

当社のコーポレートガバナンスは、しっかりとしたコンプライアンス体制や風通しの良い会社風土のなか、良好な状況を保ちながら機能しています。また取締役会は、社外役員が発言しやすい雰囲気であり、議題について適切に議論されています。

私の役割は、これまでの経験を活かして、社外の視点から、不祥事や違法行為になる前にその芽を摘み取り、未然に防ぐ手段を考え、客観的にコーポレートガバナンスを維持し強化することであると考えています。

昨今SDGsやカーボンニュートラルなど、社会が急激に変革し、人々の生活や産業のあり方もその変化に順応していかなければならない時代です。そうした変化にも耐えられる技術革新を進めるためにも、強い基盤となるコーポレートガバナンスを築き上げてまいります。

お客さまとのつながり

ニチアスグループは、お客さまにとって安全・安心な製品の提供、および、お客さまに役立つ製品・サービスの提供を推進しています。

安全・安心な製品の提供

■ お客さまに信頼される品質への取り組み

お客さまに安心してご使用いただける製品を継続的に提供するため、製品の企画・設計から廃棄まで、それぞれのステージに応じて審査する仕組みを設けています。

「開発」「設計」「技術」「製造」「販売」「品証」「環境」の各部門がそれぞれの専門的見地から連携し、製品の品質と安全性や信頼性、生産プロセスの妥当性を厳しく審査しています。

■ 品質マネジメントシステム

当社グループでは、125年の歴史の中で培ったシステムとISO9001を融合した、独自の品質マネジメントシステムを構築し、幅広い事業と多様な製品群の品質保証活動を推進しています。各製造事業場ではISO9001認証の取得を推進し、現在では国内外の工場や子会社など多数の事業場にて認証を取得しています。また公的認定製品は、専門の組織がその適合性を管理しています。

■ 製品の安定供給

当社グループは幅広い産業になくてはならない製品・サービスを提供しています。したがって製品供給が滞ることなく、継続的に事業活動を行っていくためのBCP対策は極めて重要な経営課題です。

災害発生時などで製品供給が途絶えた場合のお客さまへの影響度合い、市場での重要性、他社製品も含んだ代替品への切り換えの可能性なども勘案し、製品供給の確保に努めています。また、企業活動を支える従業員の安全確保も重要な課題です。この2点をBCP対策の基本課題として、各種対策に取り組んでいます。

2020年度はニチアスセラテック中野第2工場が竣工しました。断熱材製品の加工工程の生産能力増強と効率化、そして災害、環境リスクの回避を目的として建設しました。

ここ数年、巨大台風による鉄塔、構築物の倒壊・飛散が報じられています。当社グループには、古くから操業している事業場もあり、強風により当社構築物の倒壊・飛散の危険性がないか、2019～2020年度でリスク判定を行いました。その結果、飛散のおそれのあるスレートへのカバー屋根施工(羽島工場)、屋根上大型看板の撤去(袋井工場)、グラウンド周囲のネットの昇降設備設置(王寺工場)など、抽出された全16件のリスク低減措置を図っています。



ニチアスセラテック中野第2工場



昇降設備が設置されたグラウンド周囲のネット(王寺工場)

コロナ禍におけるお客さまとのつながり

■ 感染予防と安全対策を踏まえた操業の継続

石油精製・石油化学などプラントの建設工事やメンテナンス工事を請け負う基幹産業事業本部では、新型コロナウイルス感染の広がりを受けて、「三つの密」が生じやすいと考えられる工事現場において、「感染防止のための基本的な考え方」と「講じるべき具体的な対策」を踏まえ「工事現場における感染予防対策」を策定しました。

●従業員や作業員に対し、出勤前に、体温や新型コロナウイルスの感染が疑われる9項目の確認により初動対応の徹底を図り、勤務中に体調が悪くなった場合には、直ちに帰宅させ、自宅待機とする。

●車両での移動時のマスク着用、窓開けによる換気、エアコン使用時の外気導入など。

●現場での十分な距離の確保、詰め所入室前の消毒、換気の励行など。

これらの対策により、お客さまの安定操業に貢献し社会インフラの提供を維持することと、新型コロナウイルス感染拡大防止の両立を図り事業運営いたしました。

現場の声 「初動」を第一に活動しています

基幹産業事業本部 東京第一営業部 千葉工事課 主席専任職 西村 亮



工事現場では「工事現場における感染予防対策」の徹底に加え、感染が疑われる作業員には自主的にPCR検査を実施するなど、「初動」を第一に活動しています。お客さまからは当社の感染拡大防止に対する積極的な取り組み姿勢について高く評価いただいています。これからも感染予防対策を含めた衛生面での管理と安全第一を徹底して活動してまいります。

■ WEB会議システムを活用した営業活動

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、ソーシャルディスタンスや3密の回避など負のイメージが強かったいっぽうで、テレワークをはじめとした働き方改革が一気に進んだという側面もありました。

お客さまとの打ち合わせにおいてもWEB会議システムを活用した営業活動を行うようになりました。特に2020年4、5月にかけての緊急事態宣言解除後は対面会議とオンライン会議それぞれの良いところを活かして、お客さまに対してより適切で効率的な提案が行えるように活動しています。



WEB会議システムを活用した打ち合わせ

■ GASKET工房™

石油精製・石油化学プラントにおける定期メンテナンスでは、当社のガスケットが緊急で必要になることがあります。当社の「GASKET工房」はお客さまのプラント構内に設置し、その場でシートガスケットの加工が可能な、移動式サービスカーです。

設備の安全な稼働のために、コロナ禍でも定期メンテナンスは実施されます。2020年度はGASKET工房内の換気、フェイスシールドの装着、消毒液・飛沫防止フィルム設置、体温測定実施などの対策を施したうえで全国各地のプラントを回り、お客さまにご利用いただきました。

GASKET工房はこれからも感染対策を実施し、プラントメンテナンスを支えてまいります。



GASKET工房



コロナ対策の一例(車内換気の実施)

従業員とのつながり

ニチアスグループは、安心して働くことのできる職場づくりに取り組んでいます。また、ダイバーシティの推進やワークライフバランスを重視し、仕事と家庭を両立してキャリアを積める各種制度の充実を図っています。

従業員の安全

■ 安全・衛生の取り組み

当社グループは以下の安全衛生基本方針に基づき、グループ一丸となって安全衛生活動に取り組み、一人ひとりが安心して働ける職場づくりに努めています。

- トップの強いリーダーシップと従業員の参画によって、積極的な安全衛生活動を推進し、「安全最優先」の意識の定着を図る。
- 快適な職場環境を作り、一人ひとりの健康を確保する。

2020年度より安全衛生スローガン「作業前には必ずKYを実施しようヨシ！」を掲げ、また、作業場に「異常時は止めて呼んで待つ！」の啓発表示をすることで、従業員の危険感受性を高め、不安全行動による災害の未然防止活動を進めています。



「異常時は止めて呼んで待つ！」の啓発表示

ワークライフバランスの推進

■ 有給休暇の取得推進

当社は、従業員が安心して働ける職場づくりの一環として、積極的な有給休暇の取得を推進しています。従業員には、年間の有給休暇の取得計画をあらかじめ立てることで、取得意識の向上、取得しやすい職場づくりに取り組んでいます。

有給休暇取得率の推移

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
48.6%	53.1%	61.2%	63.9%

■ 在宅勤務制度の導入

妊娠中、育児や介護中の従業員における負担軽減や時間的な制約の緩和、および傷病から復職した従業員の通勤時の負担軽減を目的に、当社では「在宅勤務制度」を2020年1月より導入しました。

■ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、お客さまおよび当社グループ従業員の健康・安全面の影響を考慮し、テレワークシステムの活用や在宅勤務、時差出勤の推進など、さまざまな対応を実施しています。

ダイバーシティへの取り組み

■ 障がい者雇用の推進

当社では、全国の事業場において積極的に障がい者の採用を行っています。特別支援学校から実習生を受け入れるなど、障がい者の方が安心して長く勤めていただけるような取り組みを進めています。障がい者の方は、本社をはじめ、支社、工場などの全国の事業場において、一般事務、庶務、軽作業など、さまざまな職場で活躍しています。当社の障がい者雇用率は2021年3月現在で2.3%となっています。

障がい者雇用率の推移

2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
2.1%	2.1%	2.3%	2.3%

健康経営の推進

■ ニチアスグループ健康経営宣言

当社グループは従業員の健康と安全を企業活動の基盤と捉え、一人ひとりの心身が健康であるからこそ、イキイキと働ける明るい会社になると考えています。

こうした方針のもと従業員の健康管理に積極的に取り組むため2021年4月に「ニチアスグループ健康経営宣言」を制定しました。同宣言では職場の健康、からだの健康、こころの健康の3項目を重点施策と位置づけています。

■ 健康管理に関する状況

健康経営宣言の重点施策であるからだの健康に基づき、ニチアス健康保険組合とも連携しインフルエンザ予防接種の支援、ウォーキングキャンペーン、健康診断時の各種オプション検査の受診補助などを実施しています。さらに、35歳以上の従業員には人間ドックの受診を奨励・支援しています。

健康診断に関する状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
受診率	100%	100%	100%	100%
有所見者率	27.7%	23.7%	22.2%	23.2%

■ メンタルヘルスケア

当社ではこころの健康にも重点をおき、精神科医と産業医契約を交わし、従業員を支援するとともに、必要に応じてその上司の支援も行っています。2020年度はおよそ50回、延べ220名と面談を行いました。また、新入社員や新任管理職などに対する社内研修では、必ずメンタルヘルス教育を設けており、ラインケアとセルフケア意識の向上にも取り組んでいます。ストレスチェックでは50人未満の事業場も対象として、当社グループ25社、およそ5,200名を対象に実施しました。集団分析も行い、より働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

ストレスチェック回答率

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
回答率	84.7%	90.1%	89.2%	91.8%

■ 従業員の健康リテラシーの向上

従業員一人ひとりの心身の健康を保つためには、従業員自身が健康に対する正しい知識習得が必要と考えています。グループ社内報「とんぼのわ」(年4回発行)に保健師による従業員向けの健康啓発コラムを掲載するなどしています。

人材の開発と育成

■ 問題改善、課題達成に向けた人材の育成

世界中の当社グループでは、「やってみよう！」「育む」「ありがとう」をキーワードにNKK(ニチアス改善活動)に取り組んでおり、製造現場だけでなく事務や営業、設計開発など多様な職場におけるさまざまな改善活動を推進しています。当社ではこのNKKを通してメンバーの成長や問題解決できる人材の育成を支援しています。

世界各地での発表会で選ばれた優秀チームが一堂に会し、「NKK世界大会」にてその活動を披露、世界中の仲間と共有していますが、2020年度は残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止のため各発表会を中止しました。

しかし、このようなコロナ禍であっても、各職場での活動は継続しており、2021年度はリモートにて世界大会をはじめとする各発表会の開催を計画しています。



前回(2019年度)NKK世界大会「金賞」受賞チームをモデルとしたポスターを制作し、事業場内に掲示して活動を盛り上げています。

社会とのつながり

ニチアスグループは、支援活動や助成を通じた社会への貢献を意欲的に推進しています。また、事業所がある地域社会とのコミュニケーションづくりを大切にしています。

社会・地域貢献活動

■ 寄付・助成を通じた支援

当社は、CSR活動の一環として災害支援や学術研究支援などの見地から、さまざまな寄付・助成を行っています。2020年度は総額で約500万円の寄付・助成を行いました。

■ 学術研究に対する助成

当社は、日本の研究・開発機関に貢献すべく、研究開発に助成を行っています。助成先は、半導体関連、有機合成、セラミックス、分析・評価技術など最先端技術を中心に、幅広い分野にわたっています。また、海外の大学にも支援を広げています。2020年度は、総額約400万円の助成をしています。今後とも、有望と思われる分野、機関に助成を続けたいと考えています。

■ フードバンクへの備蓄食料の提供

当社は、食べられる状態にもかかわらず捨てられる食品（食品ロス）を、福祉施設などへ無償で届けるフードバンクに協力をしています。2018年より定期的に食料の寄付を実施し、2020年度は菓子180箱・飲料水約1,600リットル、その他スポーツ飲料粉末や乾パンなどの寄付を実施しました。

■ 浜松研究所 社会復帰を目指す若者向けの職場体験

浜松研究所では引きこもりなどから社会復帰を目指す若者向けの職場体験を2019年から継続して企画、運営しています。2020年度は3名の方を職場体験に受け入れました。実習では、研修用冊子の作成や郵便の手配など各種事務作業を体験していただきました。

■ 王寺工場 王寺町に災害時の緊急避難場所として施設を提供

奈良県王寺町は大和川、葛下川の間に位置し、大雨などの出水期には越水の危険が非常に高く、防災対策が重要課題となっています。2021年3月、王寺工場施設を近隣自治会の災害時緊急避難場所として、ご使用いただく協定を王寺町と締結しました。

■ メタコート工業 地元工業高校インターンシップ受け入れ

メタコート工業奈良工場では地元採用を積極的に進めており、地元工業高校のインターンシップを受け入れています。4日間のインターンシップでは、CADソフトの演習や加工・組立の体験を通してモノづくりの醍醐味や難しさを学んでいただきました。



職場体験の様子



締結式の様子（右側）王寺町平井町長、（左側）ニチアス王寺工場三島工場長



インターンシップの様子

事業場別 社会・地域貢献活動事例

当社グループは世界各国に多数の生産・販売拠点を展開しています。各国の地域や従業員との調和を図りながら、ともに発展していけるよう、さまざまな取り組みを行っています。

国内事業場

事業場	主な取り組み内容
札幌支店、福島営業所、日立営業所、鹿島支店	地域清掃活動
前橋営業所	地域清掃活動、献血活動
千葉支店	地元商工会や町会への寄付、赤い羽根共同募金、献血活動
本社・東京支社	芝大神宮例大祭 御神燈の献燈、地域清掃活動
神奈川支店	赤い羽根共同募金、献血活動
山梨営業所	地域清掃活動
静岡支店	地域清掃活動、日本赤十字社への寄付
名古屋支社	日本口唇口蓋裂協会への協賛、緑の募金、赤い羽根共同募金
四日市支店	地域清掃活動
若狭支店	地域清掃活動、地元花火大会への協賛
京滋支店	赤い羽根共同募金
大阪支社	地域清掃活動、地元神社夏祭りへの寄付
神戸営業所	地域清掃活動
姫路支店	赤い羽根共同募金
岡山支店	地域清掃活動、赤い羽根共同募金
広島支店	広島市立特別支援学校の職場実習受け入れ、ペットボトルキャップの提供
宇部営業所	地元商業高校男子バレー部への寄付
徳山支店	周南冬のツリーまつり協賛金
北九州営業所、九州支社	地域清掃活動
長崎支店	地域清掃活動、長崎市緑の協力会ボランティアに参加
大分営業所	地域清掃活動
鶴見工場	鶴見川クリーンキャンペーン、通勤バス乗車場所近隣の清掃
王寺工場、郡山分工場	王寺工場内花いっぱい活動、近隣安全街頭指導に参加、新2号棟建設にともなう近隣自治会住民説明会、災害時の緊急避難場所としての工場施設利用について王寺町と協議
羽島工場	日本赤十字活動支援、工場周辺夜間パトロールの実施、地藏盆、献血活動
袋井工場	近隣幼稚園および保育園への図書などの寄贈、地元花火大会への協賛、地域清掃活動
結城工場	地域清掃活動、日本赤十字社への寄付、地元秋祭りへの協賛

■ニチアス本社、支社、支店、営業所 ■ニチアス研究所／工場 ■子会社

事業場	主な取り組み内容
鶴見研究所	フードバンクへの備蓄食料の寄付、地域清掃活動
浜松研究所	フードバンクへの備蓄食料の寄付、献血活動、社会復帰を目指す若者向けの職場体験を運営、障がい者アート作品展の場所提供
ニチアスセラテック	地域清掃活動、高校生インターンシップ、飯綱町ふるさと振興公社の農産物直売所の支援
ニチアスシールテック	地域清掃活動、赤い羽根共同募金
国分工業	地域清掃活動、工場周辺パトロール
竜田工業	地域清掃活動、夜間環境パトロール、地元自治会クリーンキャンペーン
大田化成	地域清掃活動、町内会掲示板掲示場所提供、グリーンゾーンとして小学生登校時に敷地の一部開放
ニチアスメカテクノ	賞味期限が近づいた非常食をNPO法人もったいないジャパンに寄付、ペットボトルキャップの提供
ニチアス関東販売	地域清掃活動、献血活動
西日本ニチアス	地域清掃活動、ユニセフ募金
ハマアス	地域自治会への寄付
新日本熱学	地域清掃活動、地元神社祭りへの協賛
ニチアスエンジニアリングサービス	地域清掃活動
イノクリート	地域清掃活動
ニチアス九州販売	地域清掃活動
福島ニチアス	地域清掃活動、「福島議定書」事業への参加、献血活動
メタコート工業（岡山工場）	地域清掃活動、鮎の稚魚を放流、ペットボトルキャップ提供
メタコート工業（奈良工場）	地域清掃活動、地元工業高校インターンシップ受け入れ
APJ	赤い羽根共同募金、献血活動、地元市民祭りへの協賛
N&Aテック	地域清掃活動
日本ロックウール	地域清掃活動
君津ロックウール	地域清掃活動
ニチアスセムクリート	地域清掃活動
アメニティ建材	地域清掃活動
中村機械製作所	地域清掃活動、西淀川防犯協会への寄付、地元神社への寄付

海外事業場

国名	社名	活動内容
インドネシア	PT. NICHIAS SUNIJAYA	近隣住民への食糧の配布 病院への寄付（保護衣、微粒子マスク、使い捨てマスク、車いす）
	PT. NICHIAS METALWORKS INDONESIA	孤児院への寄付（体温計、手洗いシンク、文房具など）
マレーシア	NICHIAS FGS SDN. BHD.	学校、宗教施設などに対する建築用パネルの寄付
	NT RUBBER-SEALS SDN. BHD.	州政府、地区警察へのマスクの寄付
シンガポール	NICHIAS SINGAPORE PTE., LTD.	障がい者施設への寄付
ベトナム	NICHIAS VIETNAM CO., LTD.	ベトナム日本商工会議所主催の「ハノイ日本祭り」にボランティア参加
タイ	NICHIAS (THAILAND) CO., LTD.	ミラー財団（山岳少数民族への支援団体）への寄付 近隣病院、ボランティア団体、犬保護施設、環境活動家への寄付
	THAI NICHIAS INTERNATIONAL CO., LTD.	稚ガニの放流／牡蠣の寝床づくり
	THAI-NICHIAS ENGINEERING CO., LTD.	地元小学校のグラウンド整備、サッカーボールや文房具の寄付
中国	NICHIAS (SHANGHAI) TRADING CO., LTD.	近隣公園に樹木50本を寄付
	NICHIAS (SHANGHAI) AUTOPARTS TRADING CO.,LTD.	家族見学会を開催
	蘇州麗佳斯工業製品有限公司	家族見学会を開催／貧困家庭への寄付 外部講師による交通安全教育講習会を実施
インド	NICHIAS INDUSTRIAL PRODUCTS PRIVATE LTD.	工場外周清掃の実施 インド政府の新型コロナウイルスファンドへの寄付

株主・取引先とのつながり

ニチアスグループは、透明性、公正性、効率性を重視した経営を行うとともに、財務情報については、迅速かつ適切に開示しています。
また、取引先に対しては、公平性を重視し、法令を順守した公正な取引を行っています。

株主・投資家への情報開示

■ IR活動

当社グループでは、株主・投資家の皆さまからのご意見を真摯に受け止め、経営に活かしていくことが重要との認識から、担当部署としてIRチームを設置し、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの充実に努めています。

例えば、アナリスト・機関投資家向け決算説明会や工場見学会、個人投資家向け会社説明会を開催しているほか、日常的なミーティングや証券会社主催のカンファレンスへの参加、海外の機関投資家訪問などを行っており、2020年度は延べ112件のミーティングを行いました。こうしたアナリスト・機関投資家との対話を通じて得られたご意見については、IR担当より定期的に社内ヘフィードバックし、経営・事業活動の改善に役立てています。引き続き、国内外の株主・投資家とのコミュニケーションを強化し、幅広い株主層の形成に努めていきます。

■ コロナ禍におけるIR活動

平常時では、アナリスト・機関投資家との適時・適切なコミュニケーションを図るため、期末決算および第2四半期決算の発表時に決算説明会を開催しています。決算説明会では経営方針、経営戦略、事業概要、財務情報を説明するとともに、経営幹部と投資家との対話にも積極的に取り組んでいます。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で決算説明会や工場見学、海外でのIRミーティングを中止しております。対面による投資家とのコミュニケーションが困難な状況ではありましたが、WEB会議や電話会議システムを用いて日常的にIRミーティングを継続して行いました。

今後も財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンスなどの非財務情報に関する対話についても積極的に取り組んでまいります。

取引先とのつながり

■ 取引に関する方針

当社グループは、お客さまへの供給責任を果たすことを重要な企業評価基準ととらえ、起こりうる大規模自然災害、新型コロナウイルスなどが当社の生産へ与える影響を最小限にとどめるための対策の一つとして、原材料のBCP対策を進めています。

具体的には、各サプライチェーンのBCP対策状況を把握し、必要に応じて改善を求めています。なお、万一サプライチェーンだけでの対策が難しいと判断したときは、当社の原材料・半製品・完成品の在庫を積み増しすることでBCP対策を進めています。

■ 公正な競争・取引

当社グループは、CSR活動の一環として、独占禁止法および下請法の研修に力を入れています。毎年、新入社員や新任管理職を対象とした研修会などに、独占禁止法・下請法順守に関するプログラムを盛り込んで実施しています。

2020年度は、リモートによる階層別研修を実施し、法の周知と法令の順守を確認しました。また、当社の役員および全従業員を対象に独占禁止法および下請法に関するeラーニングによる研修を行いました。さらに、当社における下請業者との取引実態を調査のうえ改善を行いました。これらの活動を通じ、当社グループは法令順守の徹底を図っています。

■ CSR調達アンケートの実施

当社グループでは製品のサプライチェーン全体での取り組み増進を目的に、取引先に「CSR調達アンケート」という形で活動状況の調査を実施しています。

2020年度は、50社に取引先の調査対象を拡大しました（2019年度は30社）。いずれのお取引先も活動状況は良好であることを確認しました。

環境への取り組み

ニチアスグループの製品は、断熱、流体の漏れ防止、遮音、耐食などの機能により、省エネルギー、省資源、安全衛生・環境保全など、お客さまの「環境」に関するニーズに応え、お客さまの使用ステージにおいて環境負荷の低減を実現しています。当社グループは、つねに「環境」を意識して活動しています。

ニチアス環境憲章

当社グループでは環境改善活動を全社的なものにすべく、2001年4月に当社グループの環境方針となる「ニチアス環境憲章・環境行動指針」を制定しました。2017年4月には、環境に対する社会のニーズに合わせ、内容を変更しました。

これらを実行するために、製造部門では環境マネジメントシステムの統合認証取得による環境管理活動を推進しており、事業部門ではより環境負荷を低減した製品の開発を目指し、管理部門では活動をより全社的なものにすべく、システムの構築や環境教育の実施に取り組んでいます。

環境行動指針

ニチアス環境憲章に従い、以下の項目を継続的に活動し、改善を図っていきます。

① コンプライアンスの徹底

法令順守はもとより、自主基準を設定し、社会的責任を果たします。

② 環境負荷低減製品の開発

環境負荷低減に役立つ製品及びサービスを開発し、普及に努めます。

③ 環境パフォーマンスの向上

省エネ・省資源・化学物質管理などの環境目標をたて、実行します。

④ 社会との共存

地域社会と共存するとともに、豊かな自然を大切にします。



ニチアス環境憲章

ニチアスグループ中長期環境目標について

地球温暖化による気候変動問題については、世界で120カ国以上が2050年までのカーボンニュートラル宣言を行う中、日本においても2020年10月に菅政権がカーボンニュートラル宣言を行いました。また、貴重な天然鉱物・生物資源の温存のため、資源循環・生物多様性保全の決まりが世界各国で策定されています。

このような中、当社グループの事業活動においても2050年のカーボンニュートラルを目指すこととしました。

さらに、カーボンニュートラル社会で貢献できる製品を環境負荷が少ない状態で製造し続けられるよう、製造事業場（グリーンファクトリー）と製品開発（グリーンプロダクト）において2030年度に向けた中長期環境目標を設定しました。

グリーンファクトリー

脱炭素にむけた取り組み

- 2050年度
カーボンニュートラルを目指す

2030年度 二酸化炭素排出量
30% 削減（2019年度比）

資源循環にむけた取り組み

- 2030年度 産業廃棄物排出量
30% 削減（2019年度比）

- 2030年度 VOC排出量
30% 削減（2019年度比）

グリーンプロダクト

環境配慮型設計製品の開発

- 低炭素・循環資源で製造できる製法の開発

- カーボンニュートラル社会*で貢献できる技術の開発

* 電動車・水素燃料・アンモニア燃料・二酸化炭素固定化技術）などが活躍する社会を想定

環境管理活動と目標

「ニチアス環境憲章」に基づき、2016年に策定した環境中期方針（2016年度～2020年度）の活動結果を報告します。本方針では「コンプライアンスの徹底」「環境負荷低減製品の開発」「環境パフォーマンスの向上」「社会との共存」の4課題を設定して活動しています。

2021年度は、2030年度に向けた次期中長期環境目標達成にむけ、全事業場における省エネの徹底、再エネ・創エネ利用の検討、低炭素・資源循環で製造できるモノづくり方法の開発など、これからの10年間でできることを検討してまいります。

環境中期方針に基づく2020年度の実績と2021年度の目標

○ 目標達成 △ 目標に対し50%以上達成 × 目標に対し50%未満達成 — 評価対象外

		中期目標	2020年度目標	2020年度実績	評価	2021年度目標
1	コンプライアンスの徹底	環境負荷や法的不備が変化点でわかる仕組みの構築	● 全事業場における環境法規の順守徹底の継続	● 外部審査、社内環境部門による環境監査にて大きな法令違反なし 法順守を維持できる仕組みが継続されている	○	● 全事業場における環境法規の順守徹底の継続
		製品環境法規の順守徹底	● 製品環境法規の順守徹底の継続 ● 毒劇物製品扱い者、危険物輸送担当者への定期教育実施の仕組み策定	● 毒物及び劇物取締法、消防法、国連危険物に関連する製品の取り扱いから販売・輸送までの定期教育 ● 製造事業場への危険物輸送責任者の選任と教育を実施	○	● 製品環境法規の順守徹底の継続 ● 毒劇物製品扱い者、危険物輸送担当者への定期教育実施の継続
		SDSの確実な提出	● SDS作成と改訂の継続と確実な提出 ● ラベル表示の順守継続	● 2020年度 SDS新規作成 38件 改訂 73件	○	● SDS作成と改訂の継続と確実な提出 ● ラベル表示の順守継続 ● 改正JISに対応したSDS発行体制の構築
		全従業員への環境教育の実施	● 全従業員への定期環境教育の推進・維持の継続	● 全社員向けeラーニング教育実施済 ● 環境ボランティア活動の実行	○	● 全従業員への定期環境教育の推進・維持の継続
			● eラーニングによる全従業員への環境教育の実施継続 ● 受講率目標 95%以上の維持	● eラーニングによる部門別環境教育の実施 受講率 100%	○	● eラーニングによる全従業員への環境教育の実施継続 ● 受講率目標 95%以上の維持
			● 安全衛生環境通信の発行継続	● 2020年度安全衛生環境通信を10回発行	○	● 安全衛生環境通信の発行継続
		環境委員会 工場・製品・管理部会の充実	● 工場・製品・管理部会それぞれの年2回開催の継続	● 工場・製品部会:年2回開催 ● 管理部会は未実施	△	● 3部会の再構築と推進 ● 環境経営リスタートの1年として情報の共有化、展開を図る
2	環境負荷低減製品の開発	PCB含有機器の適切な処理の推進	● PCB含有機器の調査推進と適切な処理継続	● 高濃度機器25台(安定器、コンデンサー)を処理 ● PCB含有機器の調査を継続	○	● PCB含有機器の調査推進と適切な処理継続 ● 2026年度処理完了に向け掘り起こしの強化
		未規制化学物質への自主的対応	● 製品環境アセスメント、製品含有物質管理の徹底継続 ● 未規制化学物質への自主的対応の継続	● 諸外国で規制化された化学物質の有害性情報よりリスクに応じて社内での取り扱い方法を適宜通知	○	● 製品環境アセスメントの100%実施 ● 定量的評価結果の公表 ● 製品含有物質管理の徹底継続 ● 未規制化学物質への自主的対応の継続
		顧客グリーン調達の対応	● 顧客グリーン調達への対応継続 ● 原材料グリーン調達の定期更新の継続	● 顧客からのグリーン調達調査は事業部で対応できる体制確立 ● 2020年度原材料グリーン調達結果 新規:175件(2019年度:150件) 更新:441件(2019年度:587件)	○	● 顧客グリーン調達への対応継続 ● 原材料グリーン調達の定期更新の継続
3	環境パフォーマンスの向上	産業廃棄物排出の削減	● 産業廃棄物排出量生産高原単位を2020年度末に2018年度比7%削減	● グループ全体で産業廃棄物削減活動の継続により2018年度比11%削減	○	● 産業廃棄物排出量生産高原単位を2021年度末に2020年度比1%削減
		原油換算エネルギーの削減	● 原油換算エネルギー生産高原単位2020年度末までに2015年度の 必達目標 5%削減 努力目標 7.5%削減 (COP21目標に準拠)	● 生産性改善、省エネ機器導入、省エネ活動等を継続 2015年度比17%削減	○	● 原油換算エネルギー生産高原単位2021年度末までに2020年度比1%削減
		国内製造拠点のISO14001取得事業所数向上	● 国内製造拠点のISO14001取得事業所数向上 2015年度末13事業所 2020年度末24事業所	● 君津ロックウール・ニチアスメカテクノの2社3事業所が取得済 (計24事業所取得済)	○	● ISO14001認証の維持継続 ● 新規製造部門の追加認証の検討継続
4	社会との共存	情報公開の維持・推進	● 2020年CSRレポートの発行	● 2020年6月CSRレポートを発行	○	● 2021年CSRレポートの発行
		事業場の美観整備	● 工場整備計画の継続実施	● ニチアスセラテック中野第2工場竣工	○	● 工場整備計画の継続実施
		再発苦情の撲滅	● 苦情となりうる設備の重点管理実施 環境苦情 ゼロ	● 環境会議などで再発防止策を水平展開 ● 苦情となりうる設備の特定化とマップ化が完了し運用中 環境苦情 2件発生、うち再発1件	△	● 苦情となりうる設備の重点管理実施継続 環境苦情 ゼロ

環境マネジメントシステム

さまざまな環境問題に積極的に取り組むとともに、環境憲章に基づいた環境経営の実現を目指していきます。

環境リスクマネジメント

■ 製品含有化学物質管理への取り組み

製品の開発設計から、調達、製造、販売までの各段階において、化学物質規制に対するコンプライアンスを徹底する取り組みを継続しています。2020年度も継続して「製品含有化学物質の管理体制」の運用を進めてきました。従来から発行しているSDS(安全データシート)や製品ラベルなどお客さまへの提供資料を同体制に連動して作成・管理ができる仕組みとなっています。

■ 環境パトロール

地域社会との共生を目的として、当社グループでは1990年から環境パトロールを実施しています。これは従業員が事業場の周囲をパトロールし「美観」「大気(粉じん・臭気)」「騒音・振動」「排水」の4つの項目を事業場の特性に合わせて確認する活動です。

2020年度はグループ全体で延べ178回パトロールを実施し、309件の指摘事項を改善しています。地道な活動により環境リスクを低減させるべく、パトロールを継続しています。

■ 外部からの指摘

2020年度は、製造事業場から発生する騒音についてグループ全体で2件の指摘を受けました(うち、再発環境苦情が1件)。この2件の指摘対応はグループ全体に展開しました。さらに、新たな環境苦情防止に向けて、すべての製造事業場にて「環境苦情リスクマップ」を作成し過去の苦情や苦情発生が懸念される設備、作業を事前にチェックする活動を展開し苦情防止を図っています。指摘内容の対応経過や改善策は関係自治体へも報告、連絡しています。

■ 環境啓発活動

2020年度も情報新聞「安全衛生環境通信」(月刊)の発行を継続し社内外の安全衛生環境情報を全従業員に発信してきました。また、従業員一人ひとりの環境に対する意識を高めていくような、地域へ協力する種々の活動を展開しております。(P21、22参照)

環境監査体制

製造事業場では①製造事業場内での内部監査、②本社環境部門による監査、③外部審査機関による監査の3者による環境監査を実施しています。2020年度もISO14001工場統合認証継続活動のなかで事業場間相互内部監査を実施しています。なお、これらの監査の結果、敷地境界騒音にて一部基準超過はあったものの重大な法令違反はありませんでした。

環境会計

事業活動における環境保全設備投資金額^{注1)}は673百万円でグループ全体の設備投資額の8.7%にあたります。製造ラインの公害防止設備の更新などで前年度比22百万円の増加となりました。省エネ機器の採用や新工場建設にともなう緑地、環境施設の整備などの積極的な投資を継続しています。

また、環境設備の運転コスト・メンテナンス費用・人件費などを集計した環境保全コスト^{注2)}は505百万円となり前年度比51百万円の減少となりました。

注1) 当社グループ国内製造事業場を集計対象 注2) 当社製造工場のみを集計対象(グループ全体の集計は検討中)

環境保全設備投資金額(当社グループ全体/2020年度)			百万円	
分類		金額		
事業エリア内コスト	公害防止コスト	240		
	地球環境保全コスト	101		
	資源循環コスト	202		
管理活動コスト		130		
合計		673		

環境保全コスト(当社製造工場/2020年度)			百万円	
分類		金額		
事業エリア内コスト	公害防止コスト	233		
	地球環境保全コスト	17		
	資源循環コスト	182		
管理活動コスト		73		
合計		505		

環境教育・啓発

■ 環境教育活動

当社グループでは全社員を対象とした職種別eラーニングで環境教育を2013年から毎年実施しています。事業本部ごとに主管する製品が異なるため、本部別の教育内容と共通部分に分けての学習としています。2020年度の共通部分は当社グループの環境への取り組み内容、SDGsの理解、当社グループ製品とSDGsのかかわりについての勉強としました。

環境パフォーマンス

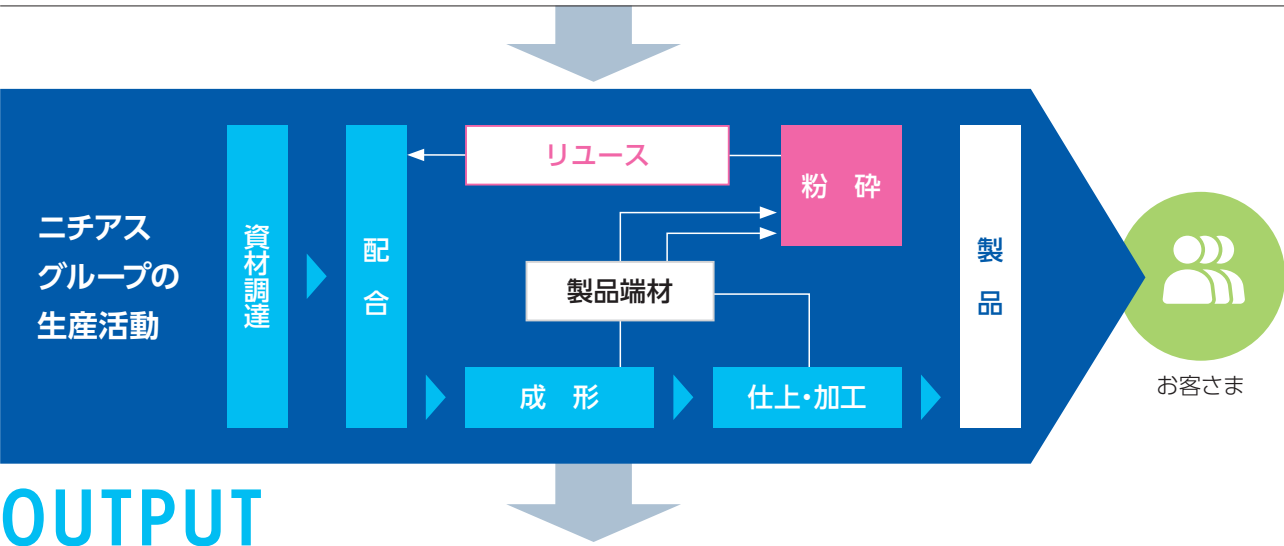
持続可能な社会の構築に向けて環境負荷物質削減への取り組みを強化しています。
環境活動範囲を拡大する活動を行っており、本年度のレポートからはニチアスメカテクノのデータを追加しています。

ニチアスグループの環境負荷全体像(2020年度実績)

当社グループは、事業活動において投入するエネルギー量や化学物質・水資源などの物質量と、排出するCO₂量や産業廃棄物量などを把握するとともに、それらの削減に向けた具体的な目標を設定しPDCAサイクルを回すことで、環境負荷の低減に取り組んでいます。

INPUT

エネルギー		水資源		PRTR※対象物質	
種別	使用量	種別	取水量	物質数合計	52
電力	15,587万kwh	上水	23.6万㎡	使用量	2,179t
石油燃料	9千KL	工業用水	56.6万㎡		
ガス燃料	893万㎡	地下水	34.0万㎡		
コークス	10千t				



OUTPUT

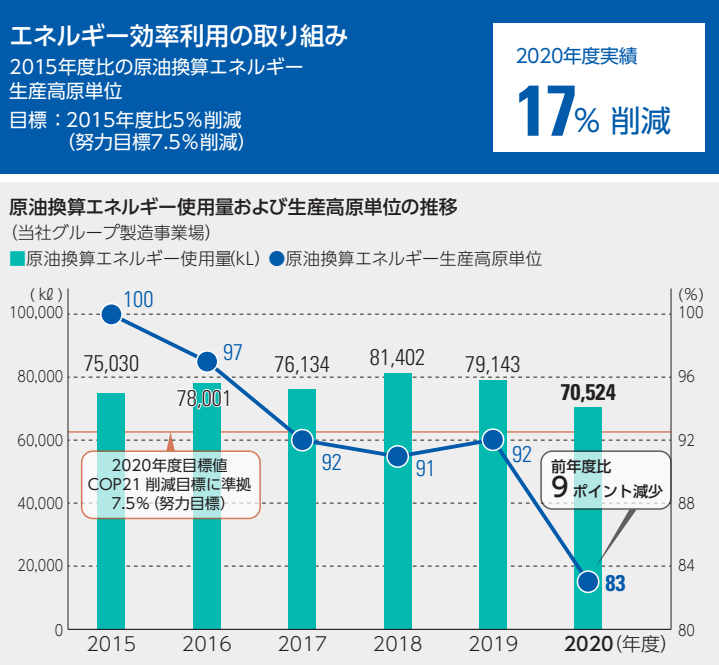
CO ₂		排水		PRTR対象物質	
種別	排出量	種別	排出量	物質名	排出量
CO ₂	15.5万t	排水	51.6万㎡	トルエン	159.1t
				フェノール	3.2t
大気汚染物質		水質汚染物質		エチレングリコールモノエチルエーテル	3.0t
				ホルムアルデヒド	2.3t
				トリエチルアミン	1.1t
				キシレン	1.0t
産業廃棄物		産業廃棄物			

※特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

エネルギーの効率利用実績

当社グループは2016年度からの環境中期方針では2020年度末の5年間で2015年度比原油換算エネルギー生産高原単位5%減を必達目標とし、さらに努力目標を加えた7.5%の削減活動を進めています。これはCOP21当初の日本の削減目標を見すえたものになっています。2020年度も原油換算エネルギー生産高原単位は好結果を維持し2015年度比では17%削減となりました。

なお、2020年度のCO₂排出量は、15.5万トンと2019年度に比べ2.4万トンの減少、CO₂排出量原単位は2015年度比24%の減少となりました。当社グループでは、積極的に省エネ機器の導入および更新の取り組みを進めており、2020年度の環境保全設備では、照明機器のLED化、省エネ型エアコンへの切替などで101百万円ほどの設備投資を行っています。

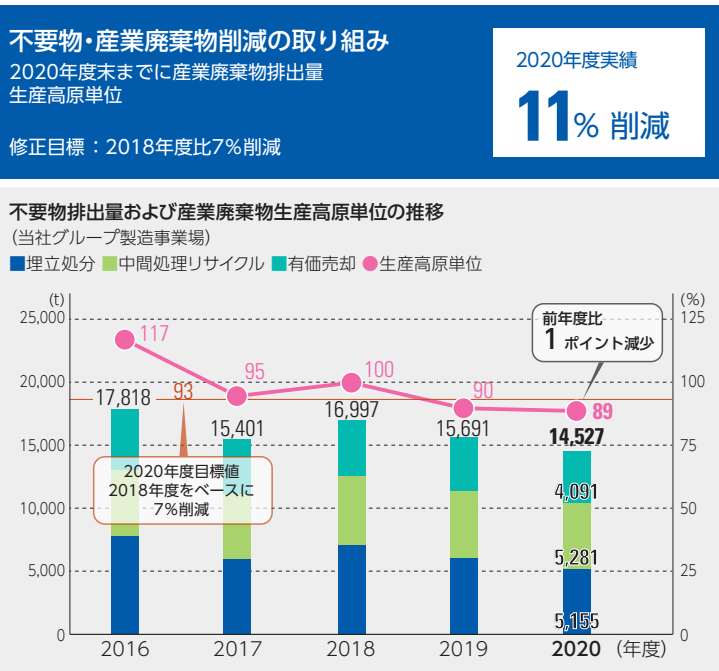


不要物・産業廃棄物排出実績

2020年度の事業活動における不要物^{注1}の排出量は総量14,527トンで前年度比1,164トンの減少、産業廃棄物の排出量は10,436トンで前年度比914トンの減少となりました。排出量生産高原単位では前年度比1ポイントの減少となり削減目標を達成しています。これは2015年度から2016年度に設備投資したロックウール工場の廃棄物再利用システムが引き続き順調に稼働していること、各拠点での不良低減活動、製造歩留まり改善、生産性向上などの活動をとおして確実に不要物、産業廃棄物を減量させていることによります。

なお、当社グループより排出される不要物から65%のものが再資源^{注2}として利用されています。

注1 グループから排出される有価売却物を含む廃棄物
注2 最終処分(埋め立て)以外の中間処理、社内再生、有価売却されたものを再資源化と定義



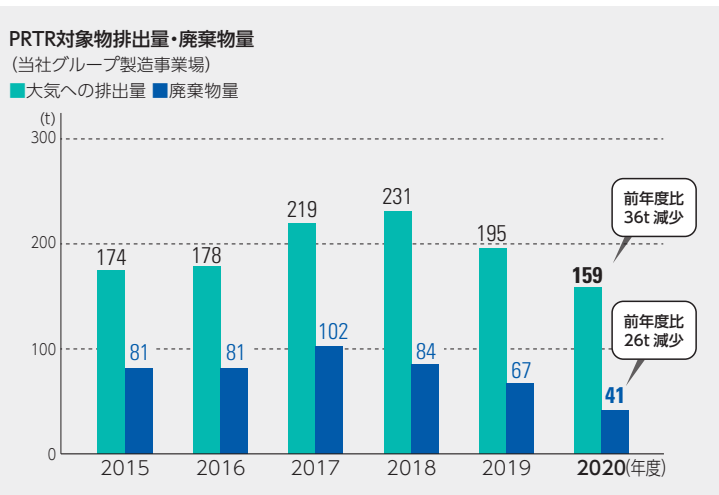
PRTR対象物質排出実績

2020年度の事業活動におけるPRTR対象物質は52種類、使用量は2,179トンで、前年度から4種増加・使用量では375トンの減少となりました。

使用量の減少、および溶剤回収装置の大規模保全で大気への排出が2020年度は前年度比36トン減少、廃棄物排出で同じく26トン減少しています。

各生産拠点では、すこしでも環境影響を減らすべく、溶剤除去・回収装置の保全、不良低減活動、生産性向上で化学物質取り扱い量の削減を図っています。

また、PRTR対象物質を含まない洗浄剤や塗料への転換に継続して取り組んでいます。



TOPICS 環境トピックス

ISO14001の国内グループ統合取得を完了

2013年度より始めた自社工場および国内製造子会社と環境統括部門である技術本部のISO14001統合認証ですが、2020年度にて一応の認証取得完了を達成いたしました。

当初10事業所からスタートした統合でしたが、2020年度には新たにグループ会社の3事業所でISO14001:2015の認証を取得し、現在では24事業所にまで拡大しています。

統合活動の中で事業所間による相互監査を展開し、生産品目、環境負荷がそれぞれ違う事業所からの普段と違った目線で指摘しあうことで改善が進み、グループ内の環境リスク、負荷低減への共通認識が形成されてきました。

さらに省資源・省エネルギー活動の横展開や相互支援が充実。法的要求事項に対する情報収集網が広がり、順守義務に対する未対応は激減、共通の管理標準や文書・帳票類の導入で業務効率もアップしています。

今後もISO14001の活動を継続することで、環境に配慮し、企業イメージの向上、利害関係者へアピールできる“環境に優しいニチアスグループ”を目指していきます。

なお、統合認証以外も含め国内外の当社グループ製造事業所の従業員のうち98%がISO14001認証取得事業所にて従事しています。(前年度比3ポイントアップ)

ニチアスグループ ISO14001認証取得状況 (2021年3月31日現在)

統合認証範囲	
ニチアス (技術本部)	王寺工場 (郡山分工場)
鶴見工場	袋井工場
羽島工場	メタコート工業 (奈良工場、岡山工場)
結城工場	福島ニチアス
竜田工業 (本社竜田工場、飯田工場)	堺ニチアス
国分工業	熊本ニチアス
大田化成	ニチアスセラテック (本社牟礼工場、表町工場、豊野工場、中野工場)
西日本ニチアス	ニチアスメカテクノ (本社工場、品川工場)
君津ロックウール	
国内単独取得事業所	
A P J	
海外製造拠点 (各事業所 単独取得)	
PT. NICHIAS ROCKWOOL INDONESIA:インドネシア	NICHIAS (THAILAND) CO., LTD.:タイ
PT. NICHIAS METALWORKS INDONESIA:インドネシア	蘇州霓佳斯工業製品有限公司:中国
NICHIAS FGS SDN. BHD.:マレーシア	NICHIAS INDUSTRIAL PRODUCTS PRIVATE LTD.:インド
NT RUBBER-SEALS SDN. BHD.:マレーシア	NICHIAS AUTOPARTS EUROPE a.s.:チェコ
NICHIAS HAIPHONG CO., LTD.:ベトナム	NAX MFG, S. A. DE C. V.:メキシコ

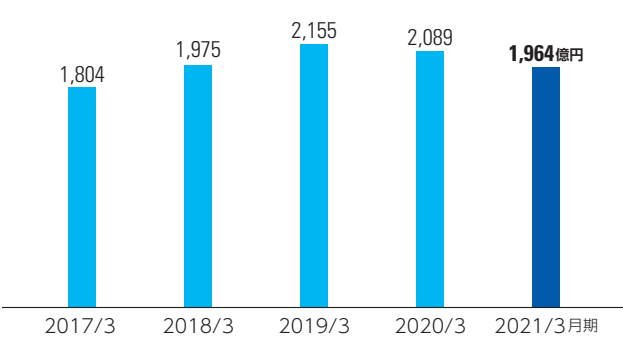
会社情報

会社概要 (2021年3月31日現在)

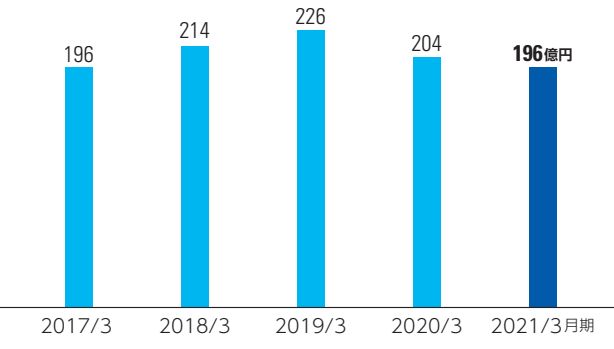
社 名	ニチアス株式会社	本 社 所 在 地	〒104-8555 東京都中央区八丁堀一丁目6番1号
英 文 社 名	NICHIAS Corporation	主要な事業内容	プラント向け工事・販売／工業製品／高機能製品／自動車部品／建材
設 立	1896年4月9日	従 業 員 数	6,337名 (連結)／1,766名 (単独)
資 本 金	121億円		

業績ハイライト (2021年3月31日現在)

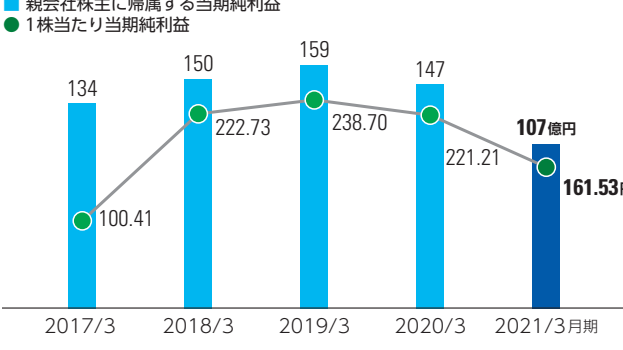
売上高



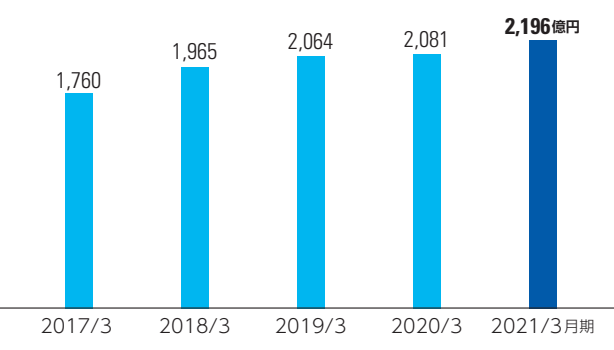
営業利益



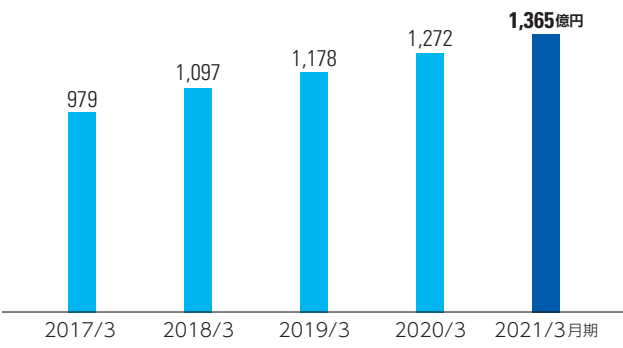
親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



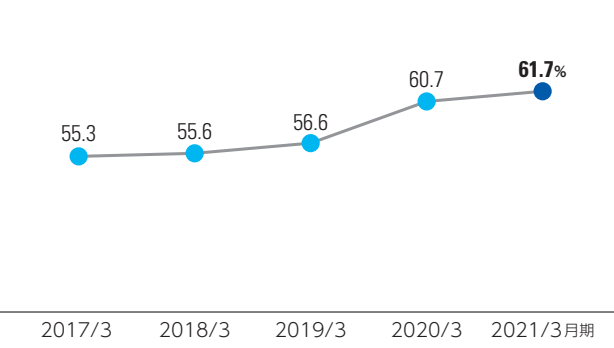
総資産



純資産



自己資本比率





表紙の写真について

ニチアスは古くから日本を象徴するトンボをトレードマークとして使用してきました。CSRレポートでは、トンボをテーマにした写真を当社グループの従業員から公募し、掲載しています。2021年の応募者数は92人でした。表紙の写真は「自然との調和」をイメージしたトンボの写真として、見事最優秀賞に輝いた作品です。

撮影者のコメント

花を見るのが好きで訪れた京成バラ園で、運よくトンボ(アキアカネ)にめぐり合えました。ピンクや黄色のバラ、青空と茜色のトンボの組み合わせという色鮮やかな一枚になり、気に入っています。写真の撮影は初心者ですので、受賞にはたいへん驚き、ありがたく思います。これをきっかけに、写真を趣味としてみたいです。

管理本部 人事部人材開発課 津留聡子

ニチアス株式会社

〒104-8555 東京都中央区八丁堀一丁目6番1号

TEL 03-4413-1194 (CSRチーム事務局)

<https://www.nichias.co.jp>

この印刷物
1冊あたり
CO₂ 270.0g



この印刷物は、日本水なし印刷協会、カーボンフリーコンサルティングを通じ、温室効果ガス削減プロジェクト（自然エネルギー事業）によって削減された CO₂ 排出権を購入することで、印刷物制作において排出された CO₂ を相殺しています。



印刷版の作成時に有害な現像液を使わず、また印刷の際にイソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な水なし印刷を採用しています。



この印刷物は鉱物油を使用せずに VOC（揮発性有機化合物）を含まない100%植物油型インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物の用紙は、責任ある管理がされた森林からの材を含む FSC® 認証紙を使用しています。



LC-CO₂ に関しては、こちらからご覧いただけます。

この印刷物に記載されている情報の全部または一部について、当社に無断で複写、複製、模倣、流用、転載すること、および磁気媒体または光記録媒体に入力することは固くお断りします。

M500-2106-07-TP-BU-改-2006